sanwa company

塩ビタイル

エンビ・デ・モク

取扱説明書

⚠ 注意　⃠ 禁止　❗ 実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

●安全上の注意について

示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつく恐れがあります。必ずお守りください。

⚠ この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される」内容をしめしています。

施工前の確認事項

1 製品構成

ホモジニアスフローリング
寸法：1.5㎜（厚さ）×152㎜×914㎜
梱包形態：36枚/ケース（約5㎡分）
約16kg/ケース

2 製品の確認

本品はホモジニアスフローリングのため、柄は印刷シートとなります。1ケースにつき、4パターンがランダムで入っています。表 面は自然な風合いに見えるよう、マットな凹凸仕上げとなっております。

⚠
- ●本製品は各種規格試験に合格しておりますが、使用前には必ずワックスで表面を保護してください。

3 下地の点検・調整

- ●下地が平滑であるか、不陸や目違い、段差、クラック等がないか。
- ●下地が乾燥しているか。含水率が8%であるか。
- ●施工できる強度が十分に確保されているか。下地の粉吹きや浮き、たわみ等がないか。
- ●施工する下地面に汚れはないか。
- ●床と壁面の取り合いが正確であるか。壁面と床下地が直角であるかどうか。

⚠
- ●下地の条件が適切でなければ施工後問題が発生する可能性があります。
- ●本製品は1.5mmと厚みが薄めに設定しております。下地の不陸を拾いやすいため、必ずパテ等で下地の補正を行ってください。

4 割り付け、墨出し

現場を実測し、割り付け図をもとに割り付け、墨出しを行います。割り付け指示がない場合、周辺部に極端に小さなカット物が入らないように割り付けを行ってください。

5 材料の確認、保管

材料の保管状況によって施工時の仕上がりが左右されます。
- ●乾燥した屋内に保管すること。平坦な場所に寝かせて置く。縦置きは厳禁です。
- ●室内温度は常温（20℃前後）に保ち、風通しの良い湿度の低い状態で保管する。

⚠
- ●室温は季節によって調節してください。
- ●製品は必ず平置きで保管してください。
- ●運搬時、角を当てないように注意してください。製品が欠ける原因となります。

6 接着剤の選定

接着剤の選定につき指示がある場合はそれに従い、ない場合は以下の接着剤を使用してください。

セメント系 モルタル・コンクリート	一般工法	アクリル樹脂 エマルジョンタイプ（『PC-1』等）
	耐水工法	エポキシ樹脂系溶剤形 （『プラゾールEP』等）
		ウレタン樹脂系溶剤形 （『WP』等）
木質下地		ウレタン樹脂系溶剤形 （『WP』等）

⚠
- ●アクリル樹脂ボンドを使用する場合、下地の状態、用途を誤まりますと施工後に伸縮する恐れがあります。
- ●10℃以下の場合は低温時工法（ウレタン樹脂系）を推奨しております。
- ●合板・木質下地は施工直後の突き上げや段差よる表面剥がれを防ぐため、エポキシ樹脂系、ウレタン樹脂系など、反応硬化型接着剤を推奨しております。
- ●現場によって最適な接着剤は異なります。施工者は十分検討の上、ご判断ください。

施工手順※施工前に、必ず前述の【施工前の確認事項】を完了してください。

1 接着剤の塗布

接着剤の塗布は、規定のくし目ごてを使用し、作業中くし目がすり減った場合は調整を行う。
一回の塗布面積は張り付け可能時間内に床タイルを張り終えることができる面積とし、壁際・柱周りは中央部を張り終えた後、接着剤を塗布する。

⚠
- ●ウレタン接着剤、エポキシ接着剤は引火性があるため、施工中は火気厳禁です。
- ●貼り付け可能時間は、接着剤と室内温度及び湿度によって変わります。
- ●クッションフロアーなどの既存床の上に重ねて施工しないでください。
- ●施工は専門業者にご依頼ください。

2 オープンタイム

オープンタイムは、接着剤、下地の種類、温湿度、通風などにより異なりるが、接着剤の皮膜にべたつきが生じる状態を目安にする。

3 貼り付け

基準線に沿わせ目地を通しながら、壁際に向かって貼り込む。壁際・柱周りなどを残して貼り込み、これらの部分は最後にまとめて貼り上げる。

4 カット

壁際に貼る床タイルを最後の列の床タイルに正確に重ね、別の床タイルを壁際にあてるなどして採寸を行い、カッターナイフなどで切り込む。

5 圧着

接着可能時間内に、45kgローラーなどで圧着します。壁際・カット部はハンドローラーを使用する。目立つ目違いは再度ハンドローラーで圧着、調整を行う。

⚠
- ●タイルの小口断面が見えないように施工を行ってください。段差等が生じる事により小口断面部が露出してしまうと剥がれの原因となります。
- ●鋭利なものを強く当てないでください。凹みや接着ムラの原因となります。

6 施工後の点検

目違い、浮き、汚れなどの不具合の有無を点検し、不具合がある場合は処理を行う。

7 仕上げ・清掃

接着剤の硬化を見計らい、床面のほこりや塵等をきれいに取り除いてから中性洗剤でモップ掛けをし、よくすすいだ後乾燥させる。

8 洗浄

接着剤が完全に硬化したら床用クリーナーを水で希釈し、モップ等で塗布した後全体をムラなく洗浄する。洗浄後、洗浄水を除去し、洗剤分を残さないようにきれいな水で床面をすすぎ洗いし、きれいなモップで水拭きする。最後に乾いたモップで拭き上げ、乾燥させる。

9 ワックス塗布

床材が乾燥したのを確認してから、ワックスを塗布する。（推奨ワックス：『ノングロスコート匠』）乾いたら塗布した方向を90度変えて塗布してください。3層塗布が標準です。

⚠
- ●本製品は各種規格試験に合格しておりますが、使用前には必ずワックスで表面を保護してください。

【エンビ・デ・モクのメンテナンス方法】

1 日常のお手入れ

マットの設置
出入口に泥よけマット類を敷き、土砂の侵入を防ぎます。

モップ拭き
掃除機や、固絞りの水拭きモップや、除塵クロスで清掃してください。

部分的な汚れ
クリーナ希釈液をパットホルダーにハンドパットを取り付けたものにつけ、部分洗いしてください。ハンドパットが無い場合は家庭用スポンジタワシの固い部分でも代用できます。洗浄後、洗浄水が乾かないうちにきれいなモップやタオルで水拭きし、洗剤分をよく落として乾燥してください。汚れを落としたところにはワックスを塗布してください。

2 床用クリーナーによる洗浄

日常のお手入れを繰り返しますと、光沢が落ちてきたり、汚れが取りきれず目立ってきます。通常のお手入れで綺麗にならなくなった場合、床用クリーナーによる表面洗浄を行います。 汚れを落としたところは樹脂ワックスをその部分に塗布してください。

3 床用リムーバーによる剥離洗浄

日常のお手入れ、表面洗浄をくり返しますと、深い傷が取りきれなくなったり、皮膜全体が劣化し黄ばんできて表面洗浄では回復しなくなってきます。この場合、剥離作業を行います。 樹脂ワックスを完全に取り去る場合は剥離剤を使用してください。剥離剤の仕様要領に従い樹脂ワックスを取り除き、床が乾燥してから新築時同様、ワックスを塗布してください。3層塗布が基本です。

⚠
- ●床をいつまでも美しく、清潔に保つため、使用の際は必ずワックスを塗布してください。
  適切なメンテナンスが床材の耐用年数を延ばします。
  推奨ワックス：ノングロスコート匠（株式会社リスダンケミカル製）

●●● sanwacompany
株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.
● お客様情報センター　受付時間：土・日・祝日、夏期休業、年末年始を除く　9：00～17：30　TEL：0120-468-838　FAX：0120-382-096